

【様式①】令和5年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 長良小学校

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	○自信と誇りをもって学び続ける児童の育成 ・学ぶ喜びを実感できる授業の実現 →専門教科による個人研究の充実 ・探究力を育む授業の実現 →ぎふMIRAI's「こどう」を核とした実践	A	・教職員一人ひとりが、目の前にいる児童に力を付けることを目標に、日々授業力の向上や児童理解に努めることができた。 ・「ふるさと長良川」を基盤に、総合的な学習「こどう」を展開し、児童の探究する力の基礎を育むことができた。	・ふるさと長良に軸足を置いた「こどう」の授業は、児童が自ら課題意識をもち、解決していく力を育むことにつながるため、今後も続けていくとよい。(長良自治会連合会)	来年度以降も、これまで大切にしてきた海洋教育、河川教育の視点を取り入れながら、児童がこれまで以上に探究していくことができる授業や活動を検討し、改善していく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	○児童の健全育成を推進するための地域、家庭との密な連携 ・地域の教育力の活用(「いずみ」) ○校区の中学校との連携強化 ・学校行事、特色ある取組の推進	A	・長良っ子まなざしコミュニティ会(学校運営協議会)で適宜情報を共有しながら、クラブ活動(いずみ)に地域の高齢者を招聘し、市民運動会やさわやかウォーキング等の行事において地域の各種団体と連携を図ることができた。 ・生徒会サミット、あいさつ運動等、東長良中学校と連携した活動に取り組めた。	・クラブ活動(いずみ)で、地域の高齢者がサポーターとして、児童に関わる機会があり、直接児童に関わる機会があることは大変ありがたい刺激になった。今後も継続してもらいたい。(清流クラブ岐阜【老人会】)	・来年度も引き続き、クラブ活動(いずみ)の時間に地域の高齢者のサポートをお願いする。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくりに	○職員の働きやすさとやりがいの両面から取り組む「働きがい改革」の推進 ・「働きやすさ」…勤務時間の管理、休暇の取得、日課・会議運営の工夫 ・「やりがい」…校内研修の充実、管理職等他者からの評価	A	・職員の時間外勤務の総時間は、昨年度より若干増加しているが、職員は自身の勤務時間のマネジメントが少しずつできるようになってきている。休暇の取得や放課後の時間の確保等、働きやすさを感じながら、校内研修の充実や管理職・同僚からの働きかけにより、これまで以上にやりがいのある職場になりつつある。	・働き方改革が進められる中で、先生方のご苦勞を察する。家庭や地域にできることは、家庭や地域に任せてもらってよい。学校、家庭、地域がこれまで以上に協力していけるとよい。(長良自治会連合会)	・職員が負担感ではなく、やりがいを感じながら勤務できるように、働きやすさと働きがいの両方を求めて今後も業務改善を図っていく。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	○児童の心身の安全確保のため、災害、事故、いじめ等の未然防止、即時対応の徹底 ・いじめを見逃さない日の取組等、生命の尊厳にかかわる指導の充実 ・状況に応じた命を守る訓練の実施(地域との連携も視野に)	A	・いじめ対策監を中心に、教職員全員が同じスタンスで対応していることで、いじめの未然防止につながっている。 ・毎月の「いじめを見逃さない日」には、職員が生命の尊厳につながる話題を提供し、児童自身が考えることができています。 ・地震を想定したシェイクアウト訓練や不審者対応訓練を実施することができた。	・この時代に、完全不登校が“0”ということがまずもって素晴らしい。子どもたちの声に耳を傾けてくださっている先生方の日々のご指導に感謝している。(PTA執行部) ・地域との防災訓練について検討していきたい。(長良自治会連合会)	・地域を交えた防災訓練を具体的に検討していく。さわやかウォーキングの際に女性防火クラブの方にアルファ化米を準備していただいたが、そうした活動とのリンクも考えていきたい。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	○児童の確かな学びを支える教育環境の整備(教育DXの推進) ・タブレット端末等の積極的な活用 ○必要なところに必要な経費がかけられる財務環境の整備 ・ペーパーレス化の推進 ・PTA会計の明朗化	B	・タブレット端末を積極的に活用した授業や家庭学習が充実し、児童の学びを支えるアイテムになりつつある。 ・昨年度からPTA会計を見直し、必要なものを必要な機会に、必要な分だけ購入することでスリム化が図れているが、現在残っている繰越金等については、今後もPTA役員と話し合いを進め、適切に対応していく。	・タブレット端末を積極的に活用できるようになっていることがよく分かる。 ・PTA会費については、今年度も見直しを図り、スリム化を図ってきた。毎年、しっかりとその使用目的と実際の用途について確認し、改善を図っていききたい。(PTA執行部)	・タブレット端末を活用した児童の学びをより確かなものにしていく。 ・PTA会費の額や用途については、今後も毎年確実に見直し改善を図っていく。今後も、学校備品や学校施設に関わるものについては購入しないことを徹底する。